

台湾・工業技術研究院との日台産業連携の 更なる推進に向けた業務提携に関する覚書の締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、本日、台湾の財団法人工業技術研究院（董事長：李世光、Industrial Technology Research Institute、以下「ITRI」）との間で、日台間での産業連携推進の更なる強化を目的とした業務提携に関する覚書（以下「本覚書」）を締結しました。

ITRI は、約 6,000 名の研究者が在籍する台湾最大の政府系研究開発機関です。1973 年の創設以降、科学技術の研究開発、産業の発展促進、経済的価値の創造、社会福祉の充実を目的に、世界レベルの応用研究機関として集積回路の研究をリードしてきたほか、新たな科学技術の創出にも注力してきました。これまでに半導体受託生産大手の台湾積体電路製造（TSMC）や聯華電子（UMC）等の創業ならびに成長・発展を支援してきました。

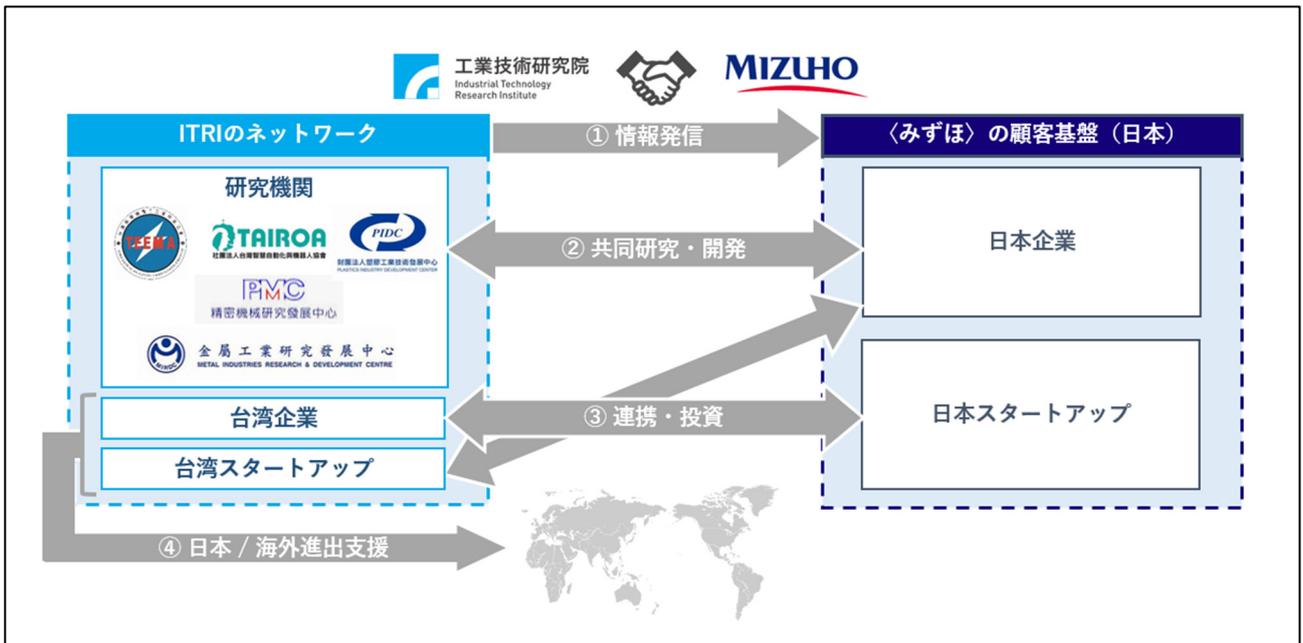
みずほ銀行は、2010 年 12 月 10 日に金融機関として初めて ITRI と業務協力協定を締結し、以降、日台企業間の技術交流・研究開発に関する包括的なサポート等を行ってきました。近年の半導体の先進技術開発の高度化や、日台スタートアップの存在感の向上等に対し、より緊密な企業間連携の推進や日台連携ニーズに対応すべく、今次、以下の取り組みについて一層連携を深めていくことに合意し、本覚書を締結しました。

1. 技術、産業動向、スタートアップに関する情報共有・発信
2. ITRI および ITRI のネットワークを活用した台湾域内研究機関と日本企業との連携支援
3. 日台企業のビジネス機会創出に向けた支援
4. 台湾企業の日本および海外進出の支援

これらの取り組みを通じ、日台企業のより具体的な連携ニーズに対してソリューションを提供することで、日台企業それぞれの発展、更には日本・台湾経済の発展に寄与するものと確信しています。

みずほ銀行は、1959 年に外国銀行として初めて台湾に支店を開設して以来、65 年にわたって台湾経済の発展とともに歩んできました。現在、台湾に 3 拠点（台北、台中、高雄）を有し、日本企業、台湾企業へのサポートを中心に、みずほ銀行が台湾の産業発展にこれからも貢献すべく、従来の枠組みに囚われず、経済部（経済産業省に相当）との連携推進に取り組んでまいりました。半導体や EV、エネルギー等様々な分野でみずほ銀行が橋渡しとなることで、お客さまへ提供する情報やサポートを一層充実させ、日台双方の経済発展に貢献していきます。

【ITRI との連携に向けたみずほ銀行の取組み】



以上

ともに挑む。ともに実る。

MIZUHO